

年頭のごあいさつ

佐川町長

堀見和道



新年あけましておめでとうございます。

また、昨年中は町政運営に対しまして、様々な形でご参加、ご協力いただきましたことを改めて厚く御礼申し上げます。

「あけましておめでとうございます。」「晴れやかな新春をお迎えるのことと・・・」と年頭の決まった挨拶をするのも憚^{はばか}られるほど、昨年は多くの方にとって厳しく、我慢を強いられる一年だったのではないかと感じております。

昨年は、世界中に猛威を振るっ

た「新型コロナウイルス」の話題に終始した一年だったと感じております。世界中で、また日本国内でも多くの方が亡くなられ、心からお悔やみを申し上げたいと思います。また、町内でも飲食業や観光業関連を中心に、多くの事業者の方々がこれまで経験したことのないような困難な状況に立たされ、また雇用環境も厳しくなるなど、多くの町民の皆様が苦しい思いをされたことだろうと感じております。町としまして、これまで個人や事業者の皆様

に、税や水道料金の減免、各種給付金等、様々な形で支援をさせていただいております。ただ、今後コロナ禍の影響が続くことが想定される中、状況に応じて支援の検討をして参りたいと考えております。

昨年末には、高知県の新たな管理型産業廃棄物最終処分場の整備に関連して、県と町との間で地域振興策に係る協定を締結いたしました。一昨年の夏から一年以上かけて、加茂地区の住民の皆様のご意見をお聴きし、現地を確認し、ご要望を受け止め、協議を重ねながら地域振興策の案を取りまとめ参りました。これまで、多くの地域住民の皆様のご協力をいただき、また町議会議員の皆様からご指導をいただき、地域振興策の具体的な内容を取りまとめることができ、改めて感謝申し上げます。県との確認書にも明記した通り、加茂地区で

子どもや若者たちが、将来にわたって安心し、誇りをもって暮らし続けられる環境を維持・向上させるよう、今後も全力を挙げて取り組んで参ります。

今年は、道の駅の整備に向けて施設の基本設計を進めていくことや、図書館もしくは図書館を含む新しい文化拠点の整備に向けて基本的な方針を決定すること、また文教のまち佐川として「さわ未来学」の運用をスタートさせることなど、佐川町の未来を創造するための事業が控えており、住民の皆様の声をお聴きしながら、世界一幸せなまちづくりを目指して、しっかりと進めていきたいと考えております。

今年も、「チームさかわ まじめに、おもしろく。」笑顔で楽しみながら、みんなで素敵な一年に参りましょう！